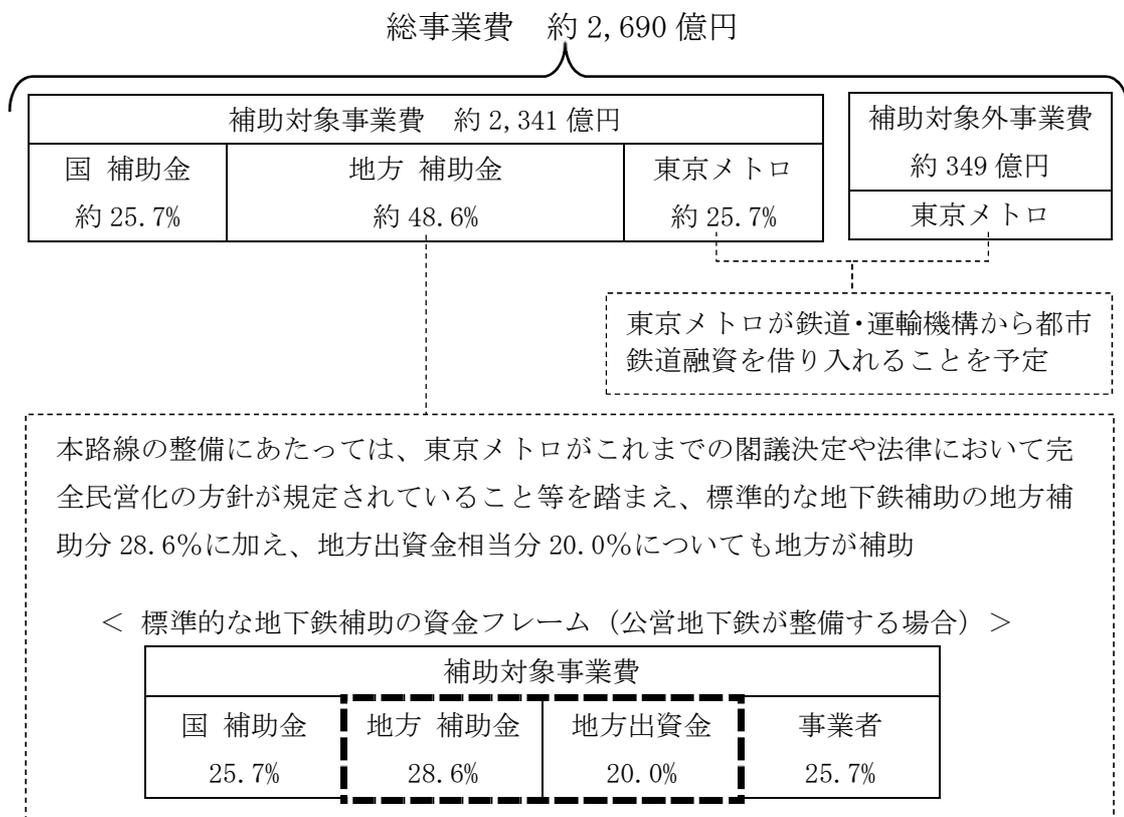


地下鉄 8 号線延伸に係る費用負担の額について

1 地下鉄 8 号線延伸に係る費用負担の枠組み

地下鉄 8 号線延伸は、地下高速鉄道整備事業費補助（以下、「地下鉄補助」という。）を活用し、当該補助制度における補助対象整備事業費（以下、「補助対象事業費」という。）について、国と地方公共団体が事業者である東京メトロに対して補助金を交付するスキームとなっている。



2 費用負担に関する区の考え方

区は、地下鉄 8 号線の建設に要する経費の財源に充てるため、平成 22 年度に地下鉄 8 号線建設基金を設置し、継続して積み立てを行うことで必要な財源を確保するとともに、事業に対する負担の意思を示し、関係機関に早期実現を働きかけてきた。

また、中間新駅が本区の発展に極めて重要な役割を果たすと考え、これまで強く整備を要望してきた。

二つの中間新駅を含む本事業を計画どおりに進めるためには、区が費用負担を行い、事業に参画することが不可欠であることから、区への貢献が大きい新駅整備に係る部分の補助に対して応分の負担を行う。

3 区負担の金額

区負担の金額は、中間新駅整備に係る補助対象事業費に、標準的な地下鉄補助の地方出資金相当分を乗じた金額とする。

中間新駅整備に係る補助対象事業費：約 471 億円

標準的な地下鉄補助の地方出資金相当分：20.0%

$$\text{約 471 (億円)} \times 20.0\% = \text{約 94 億円}$$

中間新駅整備に係る補助対象事業費：約 471 億円			
国 補助金 25.7% 約 121 億円	地方 補助金 (都) 28.6% 約 135 億円	地方 補助金 (区) 20.0% 約 94 億円	東京メトロ 25.7% 約 121 億円
	(標準的な地下鉄補助の) 地方補助分 地方出資金相当分		

<地下鉄 8 号線延伸に係る補助対象事業費 約 2,341 億円 の内訳>

国 補助金 25.7% 約 602 億円	地方 補助金 48.6% 約 1,137 億円	東京メトロ 25.7% 約 602 億円
	都負担 約 1,043 億円	区負担 約 94 億円

※ 補助対象事業費の約 4.0% (約 94 億円/約 2,341 億円) を、区が東京メトロに対し年度ごとに実績に応じて交付

※ 区負担の財源として地下鉄 8 号線建設基金を活用

4 今後のスケジュール

令和 4 年度 都区間で費用負担に関する覚書を締結

東京メトロに対する補助金を補正予算に計上

東京メトロに対して補助金を交付

令和 5 年度以降 (事業完了まで)

毎年度、東京メトロに対する補助金を予算計上し交付